

堀 浩哉

- 1947 富山県高岡市生まれ、東京在住
- 1967 多摩美術大学入学
- 1969 「美共闘」(美術家共闘会議)を結成し、議長を務める
- 2002- 多摩美術大学美術学部絵画学科教授就任
- 2010 東京・秋葉原に多摩美術大学運営のオルタナティブ・スペース「アキバタマビ 21」を開設し、プロデューサーを務める(2012年まで)
- 2014- 多摩美術大学名誉教授

個展

- 2019 「ドローイング展」花あさぎ、東京
- 2016 「HORI Kosai」Gallery604、釜山、韓国
- 2015 「滅びと再生の庭」ミヅマアートギャラリー、東京
「滅びと再生の庭」3331 アーツ千代田、東京
- 2014 「起源 - 堀浩哉」多摩美術大学美術館、東京
- 2011 「起源-Naked Place」ミヅマアートギャラリー、東京
- 2010 SPACE HONGJJE、ソウル、韓国
GALLERY604、釜山、韓国
- 2008 GALLERY A story、ソウル / 釜山、韓国
- 2007 ギャラリー山口、東京
- 2006 岡部版画出版ショールーム Korino、東京
- 2005 アトリエ倫加、高知
ギャラリー山口、東京
- 2004 高岡市美術館、富山
ギャラリー池田美術、東京
- 2003 ギャラリー山口、東京
- 2001 ギャラリー山口、東京
- 2000 「風・空気・記憶」町立久万美術館、愛媛
アトリエ倫加、高知
ギャラリー山口、東京
- 1999 ギャラリー手、東京
- 1998 阿久津画廊、群馬
- 1996 「風の眼」、高岡市美術館、富山
村松画廊、東京
- 1995 ギャラリーNOW、富山

- アトリエ倫加, 高知
 ギャラリー上田, 東京
 1994 ギャラリー絵門、愛知
 ギャラリー山口、東京
 1993 ギャラリー上田, 東京
 村松画廊、東京
 1992 ギャラリー森、愛媛
 ギャラリーNOW, 富山
 ギャラリー山口、東京
 ギャラリー上田, 東京
 アートスペース・モーブ、兵庫
 1991 「近作展」 国立国際美術館、大阪
 目黒区美術館、東京
 やの美術ギャラリー、鳥取
 フォーラム遊、長野
 村松画廊、東京
 ギャラリー上田, 東京
 ギャラリーナンヌ・シュテルン、パリ、フランス
 1990 「李康昭・堀浩哉二人展」 サム・アート・ギャラリー、ソウル、韓国
 村松画廊、東京
 ギャラリー上田, 東京
 1988 ギャラリー山口、東京
 1987 村松画廊、東京
 フォーラム遊、長野
 1985 ギャラリー山口、東京
 1984 村松画廊、東京
 ギャラリーナンヌ・シュテルン、パリ、フランス
 1983 村松画廊、東京
 1982 ギャラリー山口、東京
 村松画廊、東京
 1981 ギャラリー山口、東京
 1980 駒井画廊、東京
 ギャラリー山口、東京
 1978 真木画廊、東京
 1977 ギャラリーU、愛知

- 1976 白樺画廊、東京
- 1975 真木画廊、東京
- 1973 田村画廊、東京
ときわ画廊、東京
- 1972 楡の木画廊、東京
アトリエ・シノン、東京
- 1971 スペース・ラブ・ヘアー、東京

グループ展

- 2019 「遊殺・以後 | 高山登×椿昇×日比野克彦×藤浩志×堀浩哉」 3331 Art Fair 2019、3331 アーツ
千代田、東京
- 2018 「1968年 激動の時代の芸術」千葉市美術館、北九州市立美術館、福岡、静岡県立美術館(-2019)
「ニュー・ウェイブ 現代美術の80年代」国立国際美術館、大阪
「版画の景色 現代版画センターの奇跡」埼玉県立美術館
- 2017 「コレクションのドア、ひらきます」東京ステーションギャラリー
「コレクション展 風景をとらえる方法」黒部市美術館、富山
- 2016 「釜山ビエンナーレ」釜山美術館、韓国
「Water ~きらめく世界~」鞍ヶ池アートサロン、愛知
- 2013 「ミニマル | ポストミニマル - 1970年代以降の絵画と彫刻」宇都宮美術館、栃木
- 2012 「会津・漆の芸術祭-地の記憶 未来へ」福島
- 2011 「エルピスの空」TOKYO DESIGNRS WEEK2011, 東京
- 2010 「中日現代美術展」釜山市立美術館、釜山、韓国
- 2009 「オブジェの方へ-変貌する本の世界」うらわ美術館、埼玉
- 2007 「Attitude 2007」熊本市現代美術館、熊本
「現代海外の展望」東京ステーションギャラリー、東京
- 2006 「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2006」、新潟
- 2005 「ヒミング 2005」富山
- 2004 「イメージの水位」豊田市美術館、愛知
「四批評の交差」多摩美術大学美術館、東京
- 2003 「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2003」新潟
- 2002 「開館記念・熊本国際美術展 ATTITUDE」熊本市現代美術館、熊本
- 2001 「センチュリー・シティー」Tate modern、ロンドン、U.K.
- 1999 「グローバル・コンセプトチャリズム」クイーンズ美術館、ニューヨーク、U.S.A.
- 1998 「釜山国際現代美術フェスティバル」釜山市立美術館、釜山、韓国
「線の表情」国立国際美術館、大阪

- 1997 「接点 韓・中・日現代美術展」テグ文化センター、韓国
- 1996 「21世紀への予感！日本現代美術50人展」ナビオ美術館、大阪
- 1995 「抽象美術へのいざない」国立国際美術館、大阪
- 「還流-日韓現代美術展」愛知県美術館、名古屋市美術館、愛知
- 「今日の日本」ルイジアナ近代美術館、U.S.A.、デンマーク、ノルウェー、フィンランド、スウェーデンを巡回
- 「線について -不在のモダニズム・不可視のリアリズム-」板橋区立美術館、東京
- 「椿会 1995」資生堂ギャラリー、東京
- 「戦後文化の軌跡 1945-1995」目黒区美術館、東京、広島市現代美術館、兵庫県立近代美術館、福岡県立美術館
- 「記憶への視線」ハラミュージアム アーク、群馬
- 1994 「境界の風景」リアス・アーク美術館、宮城
- 「アジアの創造力」広島市現代美術館
- 1993 「椿会 1993」資生堂ギャラリー、東京
- 「高知県立美術館開館記念展-美術の方舟」高知県立美術館
- 1992 「70年代日本の前衛」ポローニャ私立近代美術館、ポローニャ、イタリア
- 「NICAF 第1回国際コンテンポラリー・アートフェア」パシフィコ横浜、神奈川
- 1991 「昭和の絵画」宮城県美術館
- 「今日の造形7 現代美術〈日本の心〉展」岐阜県美術館
- 1989 「ユーロパリア・ジャパン 89」アントワープ現代美術館、ベルギー
- 「第19回現代日本美術展・企画部門『現代絵画の展望-祝福された絵画』」東京都美術館（京都市美術館に巡回）
- 1987 「絵画 1977-1987 開館10周年記念」国立国際美術館、大阪
- 「第3回富山国際現代美術展」富山県立美術館
- 1986 「現代日本美術展」台北市立美術館、台湾
- 1985 「『パリ-東京』現代美術交流展」有楽町朝日ギャラリー、東京
- 1984 「第41回ヴェネツィア・ビエンナーレ」ジャルディーニ公園日本館、ベニス、イタリア
- 1983 「第6回バルパライソ・ビエンナーレ」チリ
- 1982 「第2回国際青年ドローイング・トリエンナーレ」ニュルンベルグ、西ドイツ
- 「ARTEDER 国際グラフィックアート展」ビルバオ、スペイン
- 1980 「第1回ハラ・アニュアル」原美術館、東京
- 1978 「今日の作家'78 表現を仕組む」横浜市民ギャラリー、神奈川
- 「Tokyo Geijutsu-4 展」田村画廊、東京
- 1977 「日米現代美術交換展」80 ラングトン・ストリートギャラリー、サンフランシスコ、U.S.A.
- 「第10回パリ・ビエンナーレ」パリ市立近代美術館、フランス

- 1976 「第10回東京国際版画ビエンナーレ」東京国立近代美術館、京都国立近代美術館
- 1975 「Affair & Practice-Why it-」現代文化センター、東京
「第10回ジャパン・アート・フェスティバル」上野の森美術館、東京、オーストラリア、
ニュージーランド巡回)
- 1973 「今日の作家73展」横浜市民ギャラリー、神奈川
「京都ビエンナーレ」京都市美術館
『実務』と『実施』12人展」ピナール画廊、東京
- 1969 「第9回現代日本美術展」東京都美術館、京都市美術館
- 1967 「自己埋葬儀式」銀座路上、東京

Public collections

東京都現代美術館
大原美術館、岡山
富山県立近代美術館
栃木県立美術館
兵庫県立美術館
高松市美術館、香川
国際交流基金
国立国際美術館、大阪
目黒区美術館、東京
斎藤記念川口記念美術館、埼玉
和歌山県立近代美術館
高知県立美術館
うらわ美術館、埼玉
青梅市美術館、東京
原美術館、東京
高岡市美術館、富山
いわき市立美術館、栃木
千葉市美術館
宇都宮美術館、栃木
愛知県立美術館
黒部市美術館、富山
新潟市美術館
資生堂アートハウス、静岡
広島市現代美術館

熊本市現代美術館

豊田市美術館、愛知

横須賀美術館、神奈川

東京ステーションギャラリー

伊勢現代美術館、三重